


【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	5			シート作成者	-	-	
事務事業名	公共下水道整備事業(雨水整備)			事務区分	自治事務	部課かい名	下水道河川部 下水道河川建設課
事業の目的	都市基盤施設である公共下水道管(雨水)の敷設を推進し、浸水被害の防止及び軽減を図る。			事業の目標	公共下水道(雨水)を整備する。		
事業の概要	雨水管渠の整備を行う。						
対象	市内在住、在勤市民			事業の性質区分	政策	業務計画	■
指標	雨水面整備率・雨水幹線整備率						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
52.6%・96.3%	52.2%・94.0%	52.3%・97.1%		52.5%・97.1%		52.7%・97.1%	
27年度		28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
事業費	実施計画事業費	-	1,109,325,000	758,524,000	904,355,000		
	予算額	1,400,757,000	1,692,312,319				
	決算額	803,188,845					
	執行率	57.3%					
	従事者数	7.31	6.87				
	職員	7.31	6.87				
	臨時・非常勤等						
財源内訳	国庫支出金	159,494,907	340,763,609				
	県支出金						
	地方債	585,366,553	1,125,110,011				
	その他	58,327,385	226,438,699				
	一般財源						

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
近年の集中豪雨における浸水被害の軽減を図り、市民生活の安全を確保するために、雨水幹線や雨水ポンプ場等の根幹施設を整備すると共に、浸水被害歴がある地区までの枝線管渠整備をするものであり、必要性は高い。これまでに事業の効率化を図るために難易度の高い業務や専門性の高い業務を外部委託することで、「事業の効率性」と民間のノウハウを若手職員が学ぶという「人材育成」の両面で判断しながら活用している。しかしながら、本事業は、費用対効果の面でみれば投入している事業費及び工数が高いことから、事業の効率化に向けて更なる改善が必要である。	
事業実施状況に対する分析（課題の抽出）	
事業成果	茅ヶ崎市下水道整備計画に基づき、雨水幹線や雨水ポンプ場等の根幹施設整備及び雨水面整備を進めたが、東日本大震災の復興に伴う資材の高騰や、東京オリンピック開催に伴う施設整備への重点配分により、国費の交付率が低下したこと等、様々な要因により目標とする指標を達成することができなかった。 また、少ない人工で確実な施工監理ができる体制を構築するため、市民に対する工事の周知や関係機関等との調整、各種申請手続き等、各工事に共通する事務が多数あることから、事業の効率化に向けた取り組みとして、職員自らが事務の流れを把握できるマニュアルを作成し、事務処理の定型化等の事務改善を図る必要がある。
事務効率	施工監理を行う中で各工事に共通する事項について、各々の工事担当者が市民に対する工事の周知や関係機関等との調整、各種申請手続き等の事務を行っており、事務処理を実施する上で非効率的であることから、これらに係る事務処理を定型化することにより業務の効率化が期待できる。
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果は今後見込める	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	施工監理を行う中で、市民に対する工事の周知や道路管理者・水道局等の関係機関調整、各種申請手続き、工事完了後の資産台帳用資料作成等、各工事に共通する事務が多数あること及び雨水管渠の整備に伴う支障物件移設の遅れによる繰越が生じている現状を踏まえ、手続きの遺漏防止や支障物件移設に伴う工事の繰越リスクを低減するため、これらに係る事務処理を定型化し、職員自らが事務の流れを把握できる施工監理マニュアルを平成28年度末までに作成し、事務改善を図る。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

事業を構成する活動(27年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
5-1	次年度事業計画予定作成(案)	雨水整備個所の決定	平成27年10月	平成27年10月		
5-2	工事費設計積算(直営)	積算件数	13件	10件		
5-3	工事費設計積算・施工監理(設計積算)(現場技術)(委託)	委託件数	設計積算1件 現場技術4件	設計積算1件 現場技術4件	14,509,000	9,725,000
5-4	実施設計・地下埋設物調査・土質調査・埋文調査(委託)	発注件数	13件	10件	66,968,000	25,227,419
5-5	実施設計・地下埋設物調査・土質調査・埋文調査(委託)(繰越分)	完了件数	1件	1件	9,396,000	9,396,000
5-6	工事施工監理(現場技術)(直営)	施工監理件数	10件	9件		
5-7	他企業との調整・移設補償(直営)	補償箇所数	5箇所	4箇所	96,327,000	45,758,088
5-8	雨水管理設工事(工事請負)	雨水整備面積・雨水整備延長	2.21ha・801m	1.19ha・296.9m	826,866,000	394,292,676
5-9	雨水管理設工事(工事請負)(繰越分)	雨水整備面積・雨水整備延長	0.87ha・198.5m	0.87ha・198.4m	307,500,000	301,879,440
5-10	工事に係る建物等補償	補償交渉案件の契約達成率	100%	100%	19,266,000	1,985,707
5-11	工事に係る建物等事前・事後調査、補償交渉(委託)	調査件数	事前調査44件 事後調査76件	事前調査89件 事後調査48件	21,435,000	14,924,515

27年度活動の結果を踏まえた28年度以降の改善内容		
項番	改善内容	経営改善方針への位置付け
5-1	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-2	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-3	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-4	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-5	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-6	工事の実施に伴う事務処理を定型化し、職員自ら事務の流れを把握できる施工管理マニュアルを作成する	位置付けない
5-7	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-8	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-9	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-10	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
5-11	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない

事業を構成する活動(28年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
12-1	次年度事業計画予定(案)を作成する	雨水整備箇所の決定	平成28年10月			
12-2	工事費を設計積算する(直営)	積算件数	10件			
12-3	工事費設計積算、施工監理(設計積算)(現場技術)を委託する	委託件数	設計積算1件 現場技術3件		23,600,000	
12-4	実施設計・地下埋設物調査・土質調査・埋文調査委託する	発注件数	9件		34,306,000	
12-5	放流水質調査を委託する	発注件数	1件		129,000	
12-6	工事施工監理(現場技術)をする	施工監理件数	8件			
12-7	他企業との調整・移設補償をする	補償箇所数	3箇所		38,733,000	
12-8	雨水管埋設工事(工事請負)をする	雨水整備面積・雨水整備延長	2.74ha・751m		973,291,000	
12-9	工事に係る建物等補償をする	補償交渉案件の契約達成率	100%		19,266,000	
12-10	工事に係る建物等事前・事後調査、補償交渉を委託する	発注件数	2件		20,000,000	
12-11	事後評価(繰越分)を委託する	完了件数	1件		2,070,900	
12-12	工事費設計積算、施工監理(設計積算)(現場技術)(繰越)を委託する	委託件数	設計積算1件 現場技術1件		7,628,600	
12-13	実施設計・地下埋設物調査・土質調査・埋文調査(繰越分)を委託する	完了件数	1件		8,320,819	
12-14	雨水管埋設工事(工事請負)(繰越分)をする	雨水整備面積・雨水整備延長	1.67ha・495.5m		526,477,000	
12-15	区分地上権(繰越分)を取得する	件数	1件		38,490,000	

[illegible]